

市民意見募集(パブリックコメント)結果

「第3次和歌山市食育推進計画(案)」に対するご意見を募集した結果、5件のご意見をいただきましたので、次のとおり公表します。

■募集案件の概要

募集案件	第3次和歌山市食育推進計画(案)に対する市民意見募集について
受付期間	令和5年1月30日～令和5年2月28日
ご意見の件数	2名・5件

■ご意見の概要と市の考え方

No	ご意見の概要	市の考え方
1	学校給食のパンは、大半が輸入小麦で作られており、輸入小麦は残留農薬や遺伝子組み換えの危険性も疑われることから、身体へのリスク軽減や地産地消の促進及び農家の所得向上のため、パンの回数を減らし、県産の米食に転換されたい。	現在、学校給食で提供するパンは、大半が輸入小麦を使用し、米飯は和歌山市内産の米を使用しています。学校給食に地場産物を使用し、食に関する指導の「生きた教材」として活用することは、地域の自然、文化、産業等に関する理解を深めるとともに、生産者の努力や食に対する感謝の気持ちを育む上で重要であることから、様々な献立を提供することや、パンに国産小麦を使用することなどを検討していきます。
2	農家の所得安定及び収量安定につながるよう、県産小麦を県や市町村が買い上げ、学校給食に利用されたい。	地産地消等の促進の観点から、県産小麦を使用したパンを、年に数回学校給食で提供していますが、今後も継続できるよう、学校やパン業者等と連携し、対応していきます。

3	<p>学校給食用に無農薬食材を提供する農家に対し、市が全量買い取るよう予算措置を講じられたい。</p>	<p>学校給食への無農薬食材などの提供については、本市において、オーガニック給食の取組として段階的に導入を計画しているところです。</p> <p>令和5年度から、小規模校における学校給食での有機農産物の調達を予定しており、他都市の事例も参考にしながら、公共調達する仕組みを研究していきます。</p>
4	<p>食育の宣伝にお金を出すのではなく、農家が豊かな生活を送ることができ、子どもの将来の職業の選択肢の一つに繋がるよう、食べ物を作ってくれる農家へお金が回るよう仕組みづくりを図られたい。</p>	<p>第2次和歌山市農業振興基本計画に基づき、諸施策を体系的に実施し、農業が魅力ある産業になり、農業所得向上が図られるよう農業振興を進めていきます。</p>
5	<p>子ども達が、多角的に楽しく食育等を学べるよう、また、学校教育を豊かなものにするため、各学校図書館に司書の配置を図られたい。</p>	<p>令和4年度は、小中学校18校に対し学校司書5人を配置しています。今後も、計画的に学校司書の増員を図り、学校図書館の活性化に努めます。</p>